

第18回全日本少年少女空手道選手権大会実施要項

公益財団法人 全日本空手道連盟

- 1 大会名 第18回全日本少年少女空手道選手権大会
- 2 主催 公益財団法人 全日本空手道連盟
- 3 後援 (予定) スポーツ庁 (公財)日本スポーツ協会 (公財)日本オリンピック委員会
(公財)日本武道館 日本武道協議会 読売新聞社 朝日学生新聞社 NHK
(公財)笹川スポーツ財団 (公財)ブルーシー・アンド・グリーンランド財団
- 4 場所 東京武道館
住所：〒120-0005 東京都足立区綾瀬3-20-1
電話番号：03-5697-2111
交通：東京メトロ千代田線・JR常磐線 綾瀬駅東口下車
(東綾瀬公園内を通り抜け徒歩5分)

- 5 日時 1日目 平成30年 8月4日(土)
2日目 平成30年 8月5日(日)

4日(土)				5日(日)			
9:00	開場	9:00	開場				
9:30	開会式	9:30	形競技開始式				
10:00	組手競技開始	16:00	形競技終了				
17:50	組手競技終了	16:10	閉会式・形競技表彰及び 文部科学大臣旗授与				
18:00	組手競技表彰式						
18:15	1日目終了	17:00	終了				

- 6 種目 小学生1～6年生の男子・女子の組手及び形競技個人戦
- 7 参加人員 学年別・男女別それぞれ2名を各都道府県代表選手とし、監督・コーチを含め、次表のと通りの参加数内訳とする。

種目	組手競技				形競技			
選 手	男子	1年 ～ 6年	各2名	計12名	男子	1年 ～ 6年	各2名	計12名
	女子	1年 ～ 6年	各2名	計12名	女子	1年 ～ 6年	各2名	計12名
	組手 計24名				形 計24名			
	選手(男・女)計 48名							
監督	1名							
コーチ	4名							
総人員	53名							

- (1) 同一選手が組手と形の両方に出場することは認めない。
- (2) 前表のほかに、1年生を除き、組手・形競技ともに前回大会の学年の部の優勝者、準優勝者、第3位の4名に当該種目の出場権およびシード権を与える。
 - (ア) 出場権およびシード権を持つ選手が出場しない場合、出場権およびシード権の繰り上げは行わない。
 - (イ) 出場権およびシード権を持つ選手が異なる種目に出場する場合、また前年度と異なる都道府県から出場する場合、その選手は出場権およびシード権を失うこととする。
 - (ウ) 出場権およびシード権を持つ選手の出場申し込みは、所属の都道府県空手道連盟を通じて行うこととする。なお出場費はほかの選手と同様とする。

8 競技規定

- (1) 競技は、公益財団法人全日本空手道連盟空手競技規定により行う。
- (2) 組手競技個人戦
 - (ア) トーナメント方式で行い、3位決定戦は行わない。
 - (イ) 決勝戦は、各コートにおいて学年別男女別に競技する。
 - (ウ) 競技時間は1分30秒フルタイムとする。
 - (エ) 勝敗は、競技時間内に6ポイント差が生じた場合、あるいは反則・棄権・失格、又は競技終了時に得点の多い選手を勝ちとする。競技時間終了時に同点で「先取」がない場合は、「判定」をとって勝敗を決する。
- (3) 形競技個人戦
 - (ア) トーナメント方式で2名同時に行うが、決勝戦は1名ずつで各コートにて学年別男女別に競技する。3位決定戦は行わない。
 - (イ) 勝敗は審判員5名の赤・青旗の多数決により決定する。
 - (ウ) ベスト16以下は、全空連基本形一～四のゲキサイ第1、ゲキサイ第2、平安、又はピンアン初段～5段の中から選択することとし、同じ形を繰返し演武することができる。
 - (エ) ベスト8以上は、全空連第1指定形、第2指定形、又は上記(ウ)の形でまだ競技で演武していない形から選択することとし、同じ形を繰返し演武することができる。

※今大会より「全空連基本形」が完全実施となります。

(注 1)形の呼称は従来のとおり形名だけとします。(基本形という名称は不要)

(注 2)基本形の評価は、原則として競技規定に従いますが、一致性を重視するため、①挙動の増減又は挙動の順序間違いは反則負け、②変化を加えた場合(立ち方、緩急、技の使い方)は大幅な減点、③その他は減点とします。
- (4) 組手安全具
 - (ア) 組手全種目に拳サポーター(全空連検定小学生用赤・青リバーシブル拳サポーター)、全空連検定メンホーNo.5以上及びボディプロテクター、全空連検定小学生用インステップガード及びシンガードを着装すること。なお、これらの安全具は選手各自において用意すること。
 - (イ) 小学3～6年生男子組手出場選手は必ずセーフティカップを着装すること。1、2年生は所属の指導者(監督・コーチ)の判断に委ねる。
 - (ウ) 安全具着装のない選手は出場できないので、充分注意すること。
- (5) 服装
 - (ア) 監督・コーチ・選手は競技規程に沿った清潔な白の空手衣を着用すること。空手着のひもは結ぶこと。ひもなしの空手着は不可。なお、**左胸に都道府**

県名を入れること。(5ページ参照)

監督(1枚)・コーチ(2枚)用IDカードは大会当日の監督会議で配付する。

(イ) 金属類のヘアバンド、ヘアピン等の使用は一切認めない。

(ロ) 出場選手全員に参加章(ワッペン)を交付するので、それを**競技時着用の空手衣の左肩口に必ず縫い付けること。(5ページ参照)**

(エ) 青帯・赤帯は各自全空連で検定された帯を用意し、着用すること。主催者では用意しない。

(オ) 空手着メーカーについては指定しない。

9 表彰

(1) 文部科学大臣旗の授与

男女別に総合得点の最上位の都道府県に対し、文部科学大臣旗・同大臣賞状をそれぞれ授与する。得点及び順位決定は次による。

(ア) 国体方式に基づき、各種目の入賞者に次の得点を付与する。

1位 8点、2位 7点、3位 5点(2名)、5位 2.5点(4名)

(イ) 総合得点が同点の場合は優勝者数の多い都道府県に授与する。

(ロ) さらに同点の場合はすべてを同点優勝とする。

(2) 組手・形ベスト8進出選手を次のとおり表彰する。

優勝1名 準優勝1名 第3位2名 第5位4名

なお、対象となる選手は、必ず表彰式に参加すること。

10 審判員 大会審判団は、公益財団法人全日本空手道連盟公認審判員をもって次により編成する。

(1) 各都道府県が推薦した全国組手審判員及び地区形審判員以上の資格を有する審判員(3名以内)を大会審判員に委嘱する。なお、選手が参加する都道府県は最低1名の審判員を推薦すること。

(2) 上記にかかわらず、大会審判員に不足が生じた場合は、関東地区から委嘱する。

(3) 審判員は昨年全日本空手道連盟基本形伝達講習会を受講済の者を優先する。

11 安全管理 (1) 選手は、本大会前1週間以内に、各自において健康診断を受け、医師の出場許可を得ておくこと。

(2) 傷害保険を、主催者側の負担により参加選手全員に付保する。

(3) 出場選手が競技中負傷した場合は、主催者において応急処置を施す。

(4) 保護者、監督又は選手本人において、出場選手が利用できる健康保険証を携行すること。

12 出場資格 (1) 出場選手、監督及びコーチは、公益財団法人全日本空手道連盟会員であること。

(2) 出場選手は、各都道府県連盟が選出した代表選手であること。また全空連段位または級位を保有していること。

(3) 監督及びコーチは、公益財団法人日本スポーツ協会公認空手道指導員以上または地区組手審判員以上の資格を有する者であること。

13 出場申込 (1) 1名1種目とする。

(2) 出場費は兵空連で負担する。

14 宿泊等 (1) 宿泊・交通費は自己負担とする。

(2) 主催者による宿泊斡旋は行わない。

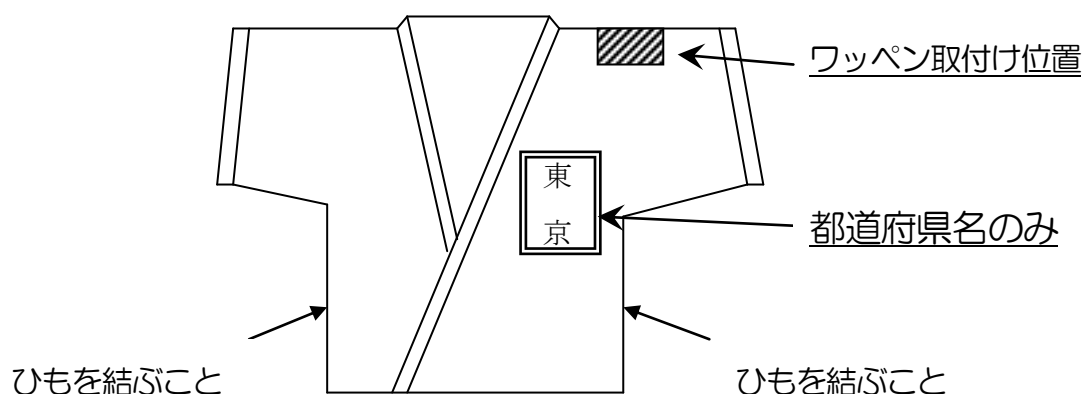
15 その他

- (1) ゼッケンは全空連で作成し、兵空連より7月中ごろ送付します。**ゼッケンが縫い付けられていないと参加できないので、しっかり縫い付けること。**なお、種目・男女別のゼッケンの色分けは次のとおり。

	男子	女子
組手	黒	赤
形	緑	黄

- (2) ゼッケンと併せて参加章（ワッペン）を兵空連より送付するので、競技規定のとおり**左肩口への縫い付けること。**昨年度以前のもの縫い付けてある場合は、はずしておくこと。
ゼッケン・ワッペンと併せて**都道府県章を兵空連より送付するので、左胸に縫い付けておくこと。**
- (3) 出場申込書提出後の選手の変更は認めない（監督・コーチの変更も不可）。
- (4) 各コートでの受付時間に間に合わない場合は参加できないので注意すること。
1日目（組手）受付時間 1・2年生：9：00～9：20
◆3年生以降は前の学年の競技中に受付を行なう。
2日目（形）受付時間 1・2年生：9：00～9：20
◆3年生以降は前の学年の競技中に受付を行なう。
- (5) 監督は当日欠席する選手が出た場合、開場後ただちに欠席届を提出すること。
欠席届は、正面入り口内にいる係員に提出すること。
- (6) 8月4日（土）の第一武道場（女子選手練習場）、第二武道場（男子選手練習場）の使用は、組手競技出場選手に限る。形選手の使用は一切認めないまた保護者が入場することを禁止する。（選手とIDカードを持つ監督及びコーチのみ入場を許可する）。
- (7) 女子選手は弓道場を更衣室として使用すること。座席や第一武道場（女子選手練習場）で更衣をしないこと。
- (8) **館内は土足禁止なので上履きを準備すること。くつ袋は各自で準備すること（全空連では準備しない）。**
- (9) 参加チームは、必ず引率者を指名配置し、出場選手の掌握、荷物の管理等に当たらせ、円滑な大会運営、事故防止に協力すること。
- (10) 観客席については地区ごとに指定された席に座ること。
- (11) 転倒等の雑踏事故防止のため、入場口付近の混雑が落ち着くまでのあいだ（開場から約1時間程度）は館外にでることができないので留意すること。
- (12) 東京武道館の利用に関して、以下の行為を禁止する。
◆観覧席確保のために、大会前日から東京武道館入口周辺にガムテープを使用してブルーシート等を貼って場所取りをし、飲酒すること（出場選手関係者の飲酒が発覚した場合は、所属都道府県役員及び関係者の入館をお断りさせていただく場合があります。またコンクリート面へのガムテープの使用は禁止されておりますので絶対に使用しないで下さい）。
◆大会当日に東京武道館敷地内ならびに周辺の公園等で練習を行うこと（館外での練習は終日禁止）。
◆館内にくつを直に持ち込むこと（必ずくつ袋に入れてから入館すること。くつ袋は各自で準備すること。全空連では配布しない）。
◆観客席及び練習場等に縄を張ったり、荷物等を置いたりして占拠すること。また大会初日終了後に荷物を観客席に置いて帰ること。
◆東京武道館周辺に一般車及びバスの駐車をする（バスを利用する場合は、別添資料にある駐車場案内図を参照の上当該駐車場に直接相談すること。なおバスによる乗降の場所は綾瀬駅前を利用すること）。

ワッペン・ゼッケン・胸マークについての注意事項



1. ワッペンは左肩口に必ず縫い付けてください。

2. ゼッケンはしっかり縫い付けてください。

3. ゼッケンの色は以下のとおりです。

	男子	女子
組手	黒	赤
形	緑	黄

4. 胸マークは縦 15cm×横 10cmの大きさにしてください。

5. 上記の「都道府県名ワッペン」、「参加章ワッペン」以外のワッペン等を縫い付けることは認められません。なお、空手着への氏名の刺繍、また帯への氏名、道場名の刺繍は問題ありません。

以上、厳守くださいますようお願い申し上げます。

※宿泊・弁当申込方法について

兵庫県空手道連盟のホームページに、宿泊・弁当の案内を、掲載いたしておりますので、そちらをご確認ください。

兵庫県空手道連盟よりは、ホームページ以外、ご案内は行いませんので、ご了承をお願い致します。